

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

8

平成18年7月発行

くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課
電話 045(210)1111
(内線3507・3515)
FAX 045(210)8953
E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp
ホームページ
[http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/
anzenansin/anzennindex.htm](http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzennindex.htm)

神奈川あいさつ^{いっしん}一新運動

元気なあいさつで明るい地域社会をつくろう

子どもの教育はあいさつから

地域の安全・安心もあいさつから

コミュニケーションもあいさつから

『泥棒さん！この地区ちょっと手ごわいよ！』

平成17年度安全・安心まちづくり「標語」コンクール優秀賞作品（中学生部門）

子どもたちの 防犯意識を育てる

くらし安全指導員による小学校での防犯教室



『安全な場所とはどんなところか考えよう！』



『自分の身は自分で守る心を大事にしよう！』

くらし安全指導員による防犯教室等の申込み・問い合わせは、安全・安心まちづくり推進課又は各地域県政総合センター安全防災課までお願いします。（各連絡先は、中面右ページに記載しています。）

安全・安心まちづくり

「標語」「ポスター」コンクールのお知らせ

「安全で安心なまちづくり」を広めるために、防犯に関する「標語」と「ポスター」を募集します。
入賞作品は、安全・安心まちづくりの普及啓発に広く活用していきます。

標語

- 作品内容 防犯意識の大切さ、防犯対策・防犯活動の促進、防犯のため「あいさつ」「声かけ」
応募資格 神奈川県内に在住、在学または在勤の方
応募条件 1人1点 未発表のオリジナル作品 入賞作品を使用する権利は神奈川県に帰属します。（作品は、原則として返還しません。）
応募方法 字数は、10～20文字程度とする。応募にあたっては、下記の応募用紙を利用し、安全・安心まちづくり推進課に持参、郵送、FAXまたは電子メールで応募してください。
副賞 最優秀賞 1点 5千円（図書カード）（全部門の中から1点選定）
優秀賞 6点 3千円（図書カード）（小学生の部、中学生の部、高校・一般の部より各2点）

ポスター

- 作品内容 犯罪に遭わないようにするために気をつけること、犯罪を防ぐための方法・工夫、犯罪を防ぐために皆で取り組めること、防犯のための「あいさつ」「声かけ」
応募資格 神奈川県内に在住または在学の小学生、中学生
応募条件 1人1点 未発表のオリジナル作品 防犯に関する文字（スローガン等）を入れてください。 入賞作品を使用する権利は神奈川県に帰属します。
応募方法 ・画材は、色鉛筆、クレヨン、ポスターカラー等自由（貼り絵等は不可）
・大きさは4つ切り（380mm×540mm）、作品の裏面に下記の応募用紙を貼付し、安全・安心まちづくり推進課に持参または郵送してください。
副賞 最優秀賞 3点 1万円（図書カード）（小学生低学年の部、小学生高学年の部 中学生の部各1点）
優秀賞 3点 5千円（図書カード）（小学生低学年の部、小学生高学年の部 中学生の部各1点）

募集期間 平成18年9月6日まで（当日消印有効）

（小・中学生は「標語」と「ポスター」の両方に応募することができます。）

平成18年10月上旬に入賞者（学校を通じて提出された場合は学校）に通知するとともに、記者発表を行い、神奈川県安全・安心まちづくり推進課のホームページに掲載します。

平成18年10月に開催する「安全・安心まちづくりネットワーク交流集会」（仮称）で表彰式を予定しています。

かながわ安全・安心まちづくり「標語」「ポスター」コンクール応募用紙

ポスター：学校名 標語：住所又は学校名		年齢又は 学年	
フリガナ		電話番号 (連絡先)	
氏 名			
部 門 (を記入)	ポスター	小学生低学年の部（1・2・3年生） 小学生高学年の部（4・5・6年生） 中学生の部 作品の返還を希望します。（希望する場合は、を記入してください。）	
	標 語	小学生の部	中学生の部
標 語			

地域防犯活動団体 ネットワークフォーラム を開催します！！

各地域で防犯活動をしている皆さん！他の防犯活動団体の人
たちと交流してみませんか。

県では、地域の活動団体の皆さんが集い、語らう「地域防犯
活動団体ネットワークフォーラム」を8月下旬から9月下旬に
かけて県内各地で開催します。

このフォーラムは、活動団体の皆さんの交流の場として開催
するもので、意見交換等を通じて、情報や問題意識を共有し、
交流を深めることにより、防犯活動をより良いものにすること
ができると思います。

詳細につきましては、安全・安心まちづくり推進課又は各地
域県政総合センター安全防災課にお問い合わせください。

申込み・問合せ先

安全・安心まちづくり推進課

045(210)3515

安全・安心まちづくり推進課川崎分室

044(822)5744

横須賀三浦地域県政総合センター安全防災課

046(823)0210(代)

県央地域県政総合センター安全防災課

046(224)1111(代)

湘南地域県政総合センター安全防災課

0463(22)2711(代)

足柄上地域県政総合センター安全防災課

0465(83)5111(代)

西湘地域県政総合センター安全防災課

0465(32)8000(代)

県北地域県政総合センター安全防災課

042(755)1121(代)(相模原合同庁舎内)

042(784)1111(代)(津久井合同庁舎内)

防犯活動リーダー 養成講座の参加者募集

日時 全体会 10月20日(金) 13:30~16:30
地域別講座 10月下旬~12月下旬で各3回

場所 全体会 かながわ労働プラザ(横浜市中区寿町1-4)
地域別講座 横浜、横須賀三浦、県央、湘南の各地域

内容 防犯パトロールの効果的方法、防犯ボランティア組織の立ち上げや運営方法など
の考え方やコツが身につく内容です。

定員 100名程度(応募多数の場合は抽選)

費用 無料(交通費等は自己負担)

申込み 任意の用紙に住所、氏名(フリガナ)、
電話番号、ご希望の地域をご記入のう
え、平成18年9月15日(金) 必着
までにお申し込みください。



申込み・問合せ先

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県安全・安心まちづくり推進課

電話045-210-3515

FAX045-210-8953

E-Mail anzenansin@pref.kanagawa.jp

昨年の様子

学区を越えた横断的防犯活動

『無関心にならない地域づくり』が子どもを守る

鎌倉市「大船地区子どもの安全を見守る会」

大船地区では防犯の面でも近隣小学校間の交流が盛んです。活動の点から線、線から面への広がり『和を持って輪となる』瞬間だったと「大船地区子どもの安全を見守る会」のメンバーの方は言います。4年前のことですが、子どもを巻き込む事件が増えていた中で、子どもたちの安全を守るために学区を越えた横断的防犯活動の必要性や地域と学校の連帯の重要性を実感された大船地区の4つの小学校（今泉・大船・小坂・山崎）の校外委員・地区委員の人たちの小さな交流がきっかけとなり、任期終了後、約20名の有志を中心に「大船地区子どもの安全を見守る会」が発足しました。

「見守る会」では、各校の特性、地域性を大切にしながら、“日頃から防犯意識をもち、小事が大事に至らぬよう対処する”“本来子どもがもつ危険回避能力の芽を摘むことなく、程よい距離から子どもの安全を見守る”との考えのもと、情報交換を重ね、大船警察署と連携し、町内会、老人会等の協力を得ながら、校区内パトロールなどの子どもの安全を見守る活動を実施しています。我が子が卒業した後も会の中心として活動する人がいるのも、この会の特徴の一つです。



上写真の左から2番目が、大船地区子どもの安全を見守る会代表の三嶋桂子さん、その右隣が副代表の広瀬法子さん

「何かお手伝いできることはないですか」「パトロールご苦労さま」。発足当時「防犯パトロール」のプレートを自転車に付けて走っていると、声をかけてくれたり、協力を申し出たりする人が次々と現れました。これは、防犯グッズをできるだけ統一し、活動をアピールした結果でした。今では見守りの輪も広がり、既にあった「子ども110番(ピーガル君の家)」を含め、「見守る会」の「子ども110番の家」(現在120余戸)や、「防犯パトロール」のプレートを付けた自動車や自転車、「パトロール中」と書かれた黄色いリボンを付けた人たちを数多く見かけるようになりました。

「見守る会」の活動を通じて、“地域に目を向けることが地域の防犯力を高めること”“以前はあったであろう地域力(エリアパワー)を取り戻し、見えないバリアを張り、子どもたちを暖かく見守ること”が地域(町内会)の方々にも浸透しつつあります。

『できる人が できる時に できる事を』が「見守る会」のモットー。この言葉には、“無理をしないでできる活動に参加すること”“小さなことでもできることから始めること”そして“身近な防犯を自分たちの日常生活に取り入れることが大事”といったメッセージが込められています。「これからも水面下でも確実な活動をしていきたい」と「見守る会」のメンバーの方は言います。「見守る会」のモットーに込められたいくつかのメッセージは、会の活動を継続させる秘訣だと思っています。



地域活動情報